

小千谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に係るパブリックコメント実施結果

1. パブリックコメント実施状況

- (1) 意見募集期間：令和5年3月1日（水）～3月28日（火）
- (2) 周知方法：広報おぢや、ホームページ、小千谷商工会議所会員事業所への一斉FAX
- (3) 閲覧方法：市役所市民ホールほか全12箇所、ホームページ
- (4) 意見数：2件（2人）

2. 意見の概要と意見に対する市の考え方

No.	計画書の該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正の有無
1	22ページ 第4章 脱炭素社会の将来ビジョン・脱炭素シナリオ 2 本計画の削減目標	<p>人類全てのゆりかごである地球が、持続可能な生き物達の楽園であり続けるために、人類滅亡前最後に残された時間を考えなければ、取り返しのつかない破滅を招く恐れがあります。この言葉がオーバーでないところに、恐ろしささえ感じてしまいます。</p> <p>気候変動は間違いなく孫子の代、その先をも驚かすこととなります。2050年カーボンニュートラルの期限でさえ、のんびりと聞こえるのは私だけでしょうか。</p>	<p>地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、世界共通の長期目標として、日本を含む120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」を目標としています。</p> <p>本市においても、国の目標に準じて地球温暖化対策に取り組むこととし、本計画では2050年カーボンニュートラルを長期目標とします。</p> <p>なお、今後、国の目標が変更された場合は、本市もそれに合わせた対応を検討していきます。</p>	無
2	31ページ 第5章 目標達成のための対策・施策 3 具体的な取組項目 取組2-1 太陽光発電の導入	<p>再生可能エネルギー等の導入拡大には大いに支持賛成いたします。</p> <p>特に私ども事業者によるエネルギー消費そしてエネルギー消費を起源とする温室効果ガスの排出量が最も多いことから、その分野の削減を図ることはとても効果的と考えられます。</p> <p>事業者としても社会の一員としてカーボンニュートラルやSDG'sへの取り組みは社会的責務と捉えています。</p> <p>そのための太陽光発電や地熱利用や利雪などによる再生可能エネルギー設備の導入に積極的に取り組みたいと考えています。</p> <p>その取り組みの促進を図るためにも、是非とも行政からも支援をお願いしたいところです。</p> <p>現行の脱炭素設備導入促進補助金のような、財政的支援制度の一層の強化や税制的優遇制度の拡充をご検討頂きたいと希望いたします。</p>	<p>ご意見のとおり、地域全体の温室効果ガスの削減には、事業者の皆様から脱炭素化に積極的に取り組んでいただくことが特に重要と考えております。</p> <p>現在、本市では脱炭素設備導入促進補助金を設け、市民・事業者の再生可能エネルギー設備の導入支援を行っているところですが、今後は補助制度の見直しや情報提供の強化を行い、事業者の皆様が一層脱炭素化に取り組めるよう、対策を検討していきます。</p>	無